



作成日 2016年08月08日

改訂日 2022年02月02日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名	: デイスパライトCR
製品コード	: 2928
会社名	: 共栄社化学株式会社
住所	: 奈良市西九条町5丁目2番地の5
担当部門	: 塗料添加剤事業部研究部
電話番号	: 0742-64-1984
ファックス番号	: 0742-63-3174
緊急連絡電話先	: 奈良工場(0742-62-1251)
推奨用途	: コンクリート凝結遅延剤

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

##### 物理化学的危険性

分類基準に該当しない。

##### 健康に対する有害性

急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入:ガス)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	: 分類できない
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
授乳への影響	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

##### 環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)	: 分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	: 分類できない
オゾン層への有害性	: 分類できない

#### ラベル要素

絵表示	: なし
注意喚起語	: なし

危険有害性情報 : なし

注意書き

- 使用前にSDSを参照すること。
- 飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡する。
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
- 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- その後も洗浄を続けること。
- 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
- 容器を密閉して保管すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分	: 混合物				
化学名称	含有量(%)	官報公示整理番号		CAS番号	化学物質排出把握管理促進法
		化審法	安衛法		
グルコン酸類	10~20	既存	公表	非開示	該当しない
水	80~90	対象外	対象外	7732-18-5	該当しない

### 4. 応急処置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師に連絡する。  
: 呼吸困難または呼吸停止の時、衣類を緩めて気道を確保したのち、人工呼吸を行う。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣服、靴などは速やかに脱ぎ捨てる。  
: 必要であれば衣服等を切断する。  
: 多量の水及び石鹼で洗浄する。  
: 外観に変化が見られたり、痛みがある場合はただちに直ちに医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。  
: コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。  
: 眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、気分が悪い時は、医療措置を受ける。  
: 被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報なし
- 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 情報なし
- 医師に対する特別な注意事項 : 情報なし

### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水。
- 使ってはならない消火剤 : 水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
- 特有の危険有害性 : 加熱により容器が爆発するおそれがある。  
: 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。  
: 消火作業は可能な限り風上から行う。  
: 関係者以外は安全な場所に退避させる。  
: 周囲の設備などに散水して冷却する。  
: 消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護 : 消火作業では適切な保護具(手袋, 眼鏡, マスク等)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 作業には、必ず保護具(手袋, 眼鏡, マスク等)を着用する。  
: 必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。  
: 大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないようにする。

除去方法 : 少量の場合、吸着剤(土, 砂, ウェス等)で吸収させ密閉できる空容器に回収する。  
: 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

二次災害の防止策 : 付近の着火源となる物を速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。  
: 火花を発生させない安全な用具を使用する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : 作業上の換気を十分に行い、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。  
: 取り扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。

安全取扱注意事項 : 作業上の換気を十分に行い、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。

接触回避 : 「10. 安全性及び反応性」を参照。

衛生対策 : 取り扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。

### 保管

安全な保管条件 : 容器の密閉を確認した上で、直射日光を避け換気の良い屋内貯蔵とする。  
: 火気、熱源から遠ざけて保管する。

安全な容器包装材料 : 消防法及び国際輸送法規で規定されている容器を使用する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理濃度／許容濃度

成分	管理濃度	産業衛生学会	ACGIH:TWA
グルコン酸類	-	-	-
水	-	-	-

設備対策 : 密閉された装置、機械、局所排気装置を使用する。  
: 取扱場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

### 保護具

呼吸器用の保護具 : 必要により防塵マスク、防毒マスク。

手の保護具 : 不浸透性(耐薬品、耐油)保護手袋。

目の保護具 : 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型保護眼鏡)。

皮膚及び身体の保護具 : 保護服、保護長靴、保護前掛け。

特別な注意事項 : 情報なし

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 淡褐色

臭い : 情報なし

pH : 7-9(10%水溶液)

融点／凝固点 :  $\leq -5^{\circ}\text{C}$

沸点又は初留点及び沸点範囲	: 情報なし
引火点	: 引火性なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
蒸気密度	: 情報なし
密度及び／又は相対密度	: 1.06(20°C)
溶解度	: 水:可溶
n-オクタノール／水分配係数	: 情報なし
自然発火点	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
動粘性率	: 情報なし
可燃性	: 情報なし
粒子特性	: 情報なし
その他のデータ	: 情報なし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常取扱条件において安定である。
反応性	: 特記すべき反応性なし。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 加熱・高温。
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	
グルコン酸類	: 区分に該当しない ivn-rbt LDLo:7630 mg/kg (Gajatto,S. Arch.Farmacol.Sper.68, 1(1939))
急性毒性(経皮)	
情報なし	
急性毒性(吸入:ガス)	
情報なし	
急性毒性(吸入:蒸気)	
情報なし	
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	
情報なし	
皮膚腐食性/刺激性	
情報なし	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	
情報なし	
呼吸器感作性	
情報なし	
皮膚感作性	
情報なし	
生殖細胞変異原性	
情報なし	
発がん性	
情報なし	

生殖毒性  
授乳への影響

情報なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

情報なし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

情報なし

誤えん有害性物質

情報なし

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)

情報なし

水生環境有害性 長期(慢性)

情報なし

生態毒性・魚毒性

情報なし

生態毒性・無脊椎動物毒性

情報なし

生態毒性・藻類毒性

情報なし

残留性／分解性

情報なし

生体蓄積性

情報なし

土壌中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

情報なし

BOD(0.1%水溶液): 56ppm

COD(0.1%水溶液): 61ppm

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。
- : 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。
- : 焼却処理をする場合には、引火性物質を含むので注意して行う。

汚染容器・包装

- : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、廃棄物処理法及び関連法規ならびに地方自治体の基準に従い処理する。

## 14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

: IMOの規定に従う。

国連番号

: 該当しない

品名(国連輸送名)

: 該当しない

国連分類

: 該当しない

容器等級

: 該当しない

海洋汚染物質

: 非該当

MARPOL及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

: 非該当

航空規制情報	: ICAO/IATAの規定に従う。
国連番号	: 該当しない
品名(国連輸送名)	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
国内規制	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	: 容器の漏れの無いことを確認し転倒、落下、損傷がないように積み込み荷崩れ防止を確実にを行う。 : 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
指針番号	: NA

## 15. 適用法令

化審法	: 特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
毒劇物取締法	: 非該当
消防法	: 非危険物
船舶安全法	: 非該当

## 16. その他の情報

参照: 独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム

\* この安全データシートはJIS Z 7253(2019)に準拠して作成しています。

\* この安全データシートの情報は作成時において、正確であると信用されるものです。

当社は安全データシートの内容について、ある特定使用目的への適合性および当社の関知しない商品取引への流用等においては一切の保証をするものではありませんので、その点につきましてはお客様において判断して頂きますようお願いいたします。

また、危険、有害性の評価は十分ではありませんので、取扱いには十分な注意をお願いします。